

第九 軌

道

本線軌道は七十五封度軌條を用ひ其延長第一線は六十九鎖五十三節第二線は六十九鎖六十四節合計一哩五十九鎖十七節にして線路は總て橋梁上にありて其構造一定ならざるを以て撒布すべき砂利厚は鐵桁上にありては平均一呎三吋拱橋上に於ては頂部約三呎拱脚上約九呎「スラブ」上に於て一呎二吋乃至二呎七吋なり枕木は總て砂利床なるを以て樁材並枕木を用ひ其數量は規定に依り配置せり本工事は總て直營を以て施工す線路砂利は精選品にして總數量貳千百立坪多摩川に於て採集し建築列車を以て運搬すべき計畫なるが鐵桁架設の竣工を待つときは工事全部の進行上に影響すべきを以て萬世橋及黒門橋には七年四月假鐵桁を架し建築列車を通し小柳町橋及黒門町橋の上部に撒布し續て本橋架設後萬世橋及東京驛の兩方面より運搬し七年十二月撒布全部を終りし

軌條布設は砂利撒布を終りたる部分より順次に施工し八年一月二十五日全く終了せり線路中には勾配標六ヶ所哩程表四ヶ所を設置す

新線路は單に東京驛と萬世橋とを連絡するのみにして側線或は轉轍器等設置の必要なきも本線開通の上は現在山手線及び中央線の運轉系統を變更するの要あるを以て從て東京、萬世橋兩驛構内に於ける配線の變更乘降場其他の増設移轉等の必要あり之等の工事は大正七年八月より直營或は請負を以て着手し八年二月全部竣工せり

其施工せるものは東京驛構内に於ては本線増設七鎖二十節同移轉三十一鎖七十節側線の増設九鎖三十節之等に附屬せる「シツサース、クロッシング」新設一組轉轍器及轍又増設一組轉轍雙動機新設三ヶ所又側線に於て移轉四十六鎖三十節之に附屬せる轉轍器及轍又移轉十一組増設二組轍去七組轉轍雙動機新設三ヶ所「レリーズロック」一組軌條製車止移轉三ヶ所外に萬世橋驛構内より水壓式車止一ヶ所を移轉建設す、又線路の移轉に伴ひ檢車坑及洗車臺を移轉増築し現在長百八十呎のもの二ヶ所を百八十呎及二百四十呎のもの各一ヶ所とせり

電車運轉上の必要に依り第二乘降場を延長し其南方に於て延長百二十八呎幅二十四呎北方に延長三十呎幅十呎を増築す其構造は木造にて床面は敷板上に「ターピヤ」混凝土を布設し上家は木造鐵板葺にして現在のものと接續を良くす又第三乘降場にある荷揚用昇降機を第二乘降場に移轉し第一乘降場には面積十坪の乗客待合所を新設す

萬世橋驛は從來中央線の終端として電車は總て引返し運轉せるが新線開通と共に本驛は中間驛となるを以て一部配線を變更せり既に本線の移轉十六鎖側線同四十六鎖同撤去七鎖六十節及之等に附屬して轉轍器轍又の移轉二組撤去一組轉轍雙動機撤去一組なり又乘降場擁壁は從來木造の假構造なりしか之を煉瓦造に改築せり

第十 電 氣 設 備

東京萬世橋間新線路に架する電車線は「カタナリー、システム」にして之に要する鐵塔三十七組を拱橋上に建て之に繫架す鐵塔間の距離即ち電車線徑間の最長は二百六十五呎最短九十五呎平均百六十九呎なり又東京驛構内に於て配線一部の變更に伴ひ鐵塔八本を移轉し之に添架せる電車線をも共に移轉變更せり

發電所、變電所、送電線、原動力等は現在のものを變更せず

通信及信號設備は電線は電力用鐵塔を利用架設し自働開閉機十二臺、電動轉轍器四個、電話機二十二組、等を設備し電導線は多く「ケーブル」を使用せり